

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年3月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102518
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ荒田
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田二丁目39番1号 (電話) 099-812-3866
自己評価作成日	令和7年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- H13年10月、ホーム開設。市の中心部に位置しており、国道225線近くバス、電車等の交通機関に利便性が高いのでご家族の方にも訪問しやすい環境にあり、又、閑静な住宅街である為に騒音もなく穏やかな時の中で過ごす事ができている。
- 有料老人ホーム、居宅支援事業所が併設されている為、防災訓練、折にふれ、運営推進会議等で交流する機会もあり、相互に情報交換できている。地域の子供達にぎやかに集う「古田ヶ浜公園」への散歩などで、気分転換を図りながら、地域での催し等にも参加、交流しつつ、地域に開かれたホームづくりを目指しており、H29年6月に、地域住民、近隣の他福祉施設等との防災ネットワークを立ち上げ「共助」での相互の協力及び連携を強化できるように目指している。地域での一斉消毒、「児童の見守り隊」活動等にも参加できるように努めている。
- 入居者の方々の歩行力維持の為、下肢訓練を朝夕に実施、リハビリ訓練に取り組んでおり、協力医療機関の田上記念病院を始めとして緊急時には近医も多数あり、日頃も健康管理から医療連携を重視し、安心してホームで過ごせるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は居宅介護支援事業所と有料老人ホームが併設された建物になっている。
- ・町内会に加入し、校区コミュニティ協議会・防災ネットワーク・見守り隊等へ参加して地域との交流を図っている。毎月のフラワーアレンジメントは利用者の楽しみになっている。地域の「すこやか祭り」には作品を出品している。感染症に配慮しながら地域との交流を図っている。
- ・事業所は24時間医療連携体制が取れている。常勤看護師が健康管理を行っていて緊急時には迅速に対応できるようになっており利用者が安心して生活できるよう支援に努めている。
- ・食事には旬の食材を活用し、季節を味わってもらえるようにしている。自家栽培の野菜も利用者と一緒に収穫し、食事は職員と一緒に楽しんでいる。
- ・管理者は職員の意見や要望を聞きながら、働きやすい職場環境作りに努めている。職員同士も仲良く声かけ合いながら日々のケアに取り組んでいる。研修会にも参加してケアの質の向上を図っている。

はるかぜ荒田1F

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を理念に落とし込み、毎朝礼後に理念の唱和を行い意識付けをし実践できるよう努めている。年度末には理念についての振り返りを行っている。	理念は玄関や事務所・リビングに掲示している。朝の朝礼時に唱和し日々のケアに取り組んでいる。年度末には理念の振り返りの話し合いも行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公園などの清掃活動、総会への出席、見守り隊への参加、防災連絡ネットワークの一員として活動している。地域との繋がりを大切に相互に交流できるよう努めている。	町内会に加入し、公園の清掃活動・総会参加・見守り隊・防災連絡ネットワーク等に参加している。地域の文化祭にも作品を出展している。感染症が落ち着いてきたので今後地域との交流を図れるように計画している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	すこやか祭りでは入居者様と共作した作品を出品し感染対策をしながら参加行った。地域行事への積極的な参加を意識している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に会議を実施し、事業所の状況報告と意見交換を行っており、欠席者には議事録持参やお電話で意見等を聞くよう努めている。議事録の他、避難訓練時の様子なども持参している。	会議では、防災や介護報酬について等の情報や要望・意見を聞きながらサービスの向上に活かしている。開催や参加が難しい時は、議事録や避難訓練の様子等を書面にして報告し意見を聞き対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターや市役所を訪問した際はホーム便り等を持参し活動状況を伝えるようにしている。市職員による相談派遣員を毎年依頼し意見やアドバイスなどをもらうなど協力関係を築けるよう努めている。	市の窓口にて書類の提出・ホーム便りを持参したり事業所の状況報告をしている。介護相談員の受け入れも行っている。市主催の研修会に参加し協力関係が出来ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が身体拘束をしないことを共通認識しケアを行なうことができるよう身体拘束廃止のマニュアルを基に勉強会を定期的に行っている。スピーチロックや権利擁護についての研修に参加している。	身体拘束廃止委員会がありマニュアルもある。新人研修でも確認している。法人・外部研修会にも参加し、事業所でも勉強会を実施している。日中は玄関の施錠は行っていない。見守りを徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について勉強会を開催し、ケアの振り返りを行い、全スタッフで情報の共有に努めて環境・意識づくりを目指している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修では権利擁護の項目を設けており全職員が学ぶ機会づくりを確保している。実際に成年後見制度を利用できるよう協議、支援をおこなった事例も見られます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時際には、契約の締結を実施しており、ゆっくりと分かりやすい表現を意識して説明を行い理解を得られるように心がけている。又疑問点の有無にも注意を行い、文書を用いて十分に時間をとり説明を行なっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の想いは、日頃の対話や書面などから理解できるよう努め、ご意見・ご要望があった場合には速やかに職員会議やカンファレンスで話し合いを持ち、運営の改善に反映させる形をとっている。</p>	<p>利用者からは日常の暮らしの中で思いを聞いている。家族からは面会時や電話で話を聞いている。ホーム便り・行事予定・暮らしの日記をお届けして、そこから思いを聞き、対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各スタッフには、本人の意見や要望を聞き取り、ケアに関する助言、指導や研修の実施、シフト調整をおこない職場環境を整備し働きやすいよう取り組んでいる。</p>	<p>毎月のミーティング時や日々の業務の中で職員から誘導の仕方やケアの事についての意見が聞かれ対応している。管理者から職員に体調や仕事についての声掛けすることもある。個人面談も行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個別に職員の資格取得に向けた支援や各スタッフの意識向上が図れるように、それぞれに役割を担ってもらいながら、やりがいのある就業環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内外での研修の案内、紹介を行い、参加後は研修内容の報告を行い全職員で共有できるよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同じ立場同士で集まる管理者会議へ参加、交流や意見交換を行なっている。他事業所から助勢という形で訪問があり交流や意見交換を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス導入前には本人との面談を行ない、その方の不安や思いを受け止め、意向にできるだけ沿う形で環境整備を行ない、開始段階から安心して暮らすことができるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前よりご家族と面談を通し、不安なことや要望を伺い、希望に添えるよう丁寧に説明し、信頼関係の構築が図れるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族の実情や要望を基にスタッフで話し合い、必要な支援などについて意見交換を速やかに行なっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>洗濯物たたみやテーブル拭き、新聞畳みなど出来ることはして頂き、感謝の言葉を述べるよう心掛けている。ケアプラン作成時は、日々の生活に自身を持てるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月、「暮らしの日記」を作成し日々の様子を記録し、お伝えしている。情景が詳しくわかるよう工夫し記入している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>予約にて家族は待合室で面会している。手紙・はがき・電話等の取次ぎもしている。交流が継続できるよう支援している。</p>	<p>面会は待合室で行っている。受診時のドライブで景色を楽しむ人もいる。家族と買い物・外食・外泊される人もいる。電話や手紙等の取次ぎも行っている。訪問美容や美容室に出かける人もいる。馴染みの関係が途切れない様に支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や性格を把握し利用者同士の関係性が築けるよう仲介を適宜行なうことで、個性を持ちながら利用者同士の関わりを持って頂いている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も見舞い・面会へ赴き、家族からも気軽に困り事や相談が受けられるような関係性が継続できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の会話を大切にし言葉や表情から思いや意向を察知している。意思の疎通が困難な場合はご家族から情報を得るなどし本人の思いに寄り添えるよう努めている。本人の思いは家族とも共有している。	日々のケアの中で会話や入浴・夜勤時に思いや意向を話されることが多い。困難な場合は家族や以前利用していた事業所の担当に聞く等して、本人の思いに添うように検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴や馴染みの暮らし方を本人やご家族から教えてもらいケアに反映している。前担当ケアマネジャーや病院連携室など関わりのあった機関から聴き取りを行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりとのコミュニケーションを通して、心身状態の変化や生活リズムを把握し、総合的に見つけ、できる力、分かる力を暮らしの中で発見できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各職員より気づきを記入してもらい、アセスメントやモニタリングを実施し情報を共有している。日々のかかわりの中でふとした時に発した言葉や表情などからもくみ取り暮らし方の希望に繋げられるようにしている。計画の見直しは柔軟に行えるよう努めている。	本人・家族から話を聞き、主治医や看護師からの意見も聞いて介護計画書を作成している。毎月モニタリングを行い、見直しは通常6ヶ月で実施しているが、状態に応じて随時見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を行なう際はケアプランに基づき、日々の暮らしの様子や本人の発した言葉、会話等も記入するようにしている。個々の記録は職員間で共有しケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	多様化する本人・家族のニーズに対して、多職種やインフォーマルサービスを用いるなど柔軟にまた、多機能的な取り組みができるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中で築いてきた関係性をもとに協力体制を構築、定期的に交流や協力を得る機会を設けている。また介護保険以外の地域資源サービスも把握するよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制加算を取得しており、看護師による日常的な健康管理や医療機関の連携調整が整っている。協力医療機関以外の馴染みのかかりつけ医や希望する医療機関での受診が継続できるよう支援している。	本人・家族の希望する医療機関を受診している。他科受診は家族が情報提供書を持って受診している。歯科医は必要時訪問診療である。24時間医療連携体制が整っている。看護師が日々の健康管理・医療機関との連携調整を行って適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝のバイタルチェック、全身状態の観察を行い健康状態を把握している。看護職員と相談しながら日常の健康管理や医療相談を実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、安心して治療ができる環境が整うように、介護・看護サマリーを提出し医療機関関係者と情報交換を実施し、不安を感じることなく早期の退院が実現できるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護に関する指針について整備し、入居時に時間をかけ丁寧に説明し同意を得た上で入居して頂いている。入居後も面会時など病状説明し改めてお話をしてお話をしてご理解をいただくようにしている。看取りについての研修参加への機会作りを行っている。	重度化に関する指針を基に利用開始時に丁寧に説明して同意を得ている。状態の変化に応じて本人・家族に主治医より説明をして事業所として出来る支援を行っている。看取りに関する研修会にも参加している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急隊員同席のもと心肺蘇生法について講習を受けている。実際に急変が起こった際の連絡体制についても準備を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の立ち合いのもと、同敷地内の有料老人ホームと共に年2回、昼間・夜間想定で地震、消防訓練を実施している。その様子は動画や画像で残し、再確認できるようにしている。桜島噴火も意識し、対応を想定した訓練や研修、備蓄も多めにしている。</p>	<p>年2回、自主訓練と消防署の協力をもって昼夜間想定で地震・火災・水害等も含めて防災訓練を同敷地内の有料老人ホームと共に実施している。桜島噴火の研修会にも参加し訓練も行っている。訓練の様子は動画に取って再確認している。備蓄についても水・米・レトルト食品・缶詰等を3日分の準備をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳や誇りを傷つけることがないように言動には十分に注意している。言葉遣いは日頃から注意しており、職員間で指摘しあえる環境づくりに努めている。	人権擁護・守秘義務・プライバシーへの配慮等の研修を行っている。名前は名字・下の名前だったり本人に合わせている。入室時のノック・トイレ誘導時の声掛け等の配慮をしながら支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表しやすい環境作りに努め、本人の思いや希望を汲み取り、自己決定できるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活歴やその日の体調やその時の気持ちに寄り添い、個別性を持って日々の暮らしができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えを選ぶ機会にはなるべく手に取ってご自分で選んでいただけるように努めている。外理美容の訪問サービスではカラーやカットなど希望に合わせたスタイルになるよう好みの把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	プランターでできたピーマンやナス、小ネギなど一緒に収穫し献立に取り入れ、食卓を彩る工夫をしている。季節感を少しでも味わっていただくよう、旬の食材を利用し、彩りを意識し、視覚からも食事が楽しめるよう工夫している。	献立は職員が作成し、食材は毎日買い物に出かけて、季節感を味わってもらいたく旬の食材を購入している。利用者と一緒に収穫した自家栽培の野菜を使ったり、食事形態・行事食も作っている。職員も一緒に食事をして、食事が楽しめるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせた食事形態の工夫や本人の好みの味付けや飲み物を提供し栄養バランスの維持や水分摂取量の確保ができるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員は口腔保清について理解したうえで、口腔ケアを実施している。食事前は口腔体操や歌を唄い発声を意識して取り組んでいる。歯科の訪問あり、口腔ケアの指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のリズムを把握し、昼間は立位が取れたり、2人介助でできる場合は、トイレでの排泄を基本に支援している。自尊心に配慮した言葉かけやさりげない案内などプライバシーにも留意している。	昼間は下肢筋力維持のために出るだけ個々に合わせてトイレ誘導を行っている。昼はリハビリパンツで夜はおむつの人もいる。夜間のみポータブルトイレを使用する人もいる。声かけやプライバシーへの配慮に留意しながら支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトやきな粉牛乳など腸内環境を整える乳製品の提供や体操や立位訓練など運動を実施し、自然排便がみられるよう取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回を基本に入浴を実施している。一人ひとりの希望や要望に合わせて曜日や時間帯を変更したりと柔軟に対応している。浴槽に浸かれない方には、足湯やかけ湯を十分行い気持ちよくリフレッシュできるよう支援している。	週3回、曜日や時間は本人の体調や希望に合わせて対応している。浴槽につかる人もいればシャワー浴で足湯の人もいる。状態に合わせて清拭することもある。拒否の場合は時間や曜日・声掛けを工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や生活リズムを大切に、日中は適度な運動や計算問題や塗り絵など思考力を使うレク活動を取り入れ、活動的に過ごしていただけるよう工夫している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬に変更があった際は必ず申し送りを行い受診ノートに詳しく記載し職員が内容を把握できるようにしている。内服文献は個人ごとに綴り、用法や副作用について、いつでも確認できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴を把握し、個々の楽しみや好みを知り、生け花がお好きだった方には花瓶の管理をお願いし役割を持っていただき、歌を唄うことが楽しみな方には披露する機会作りを行い、その方にあつた支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>例年、「花見」「ソーメン流し」「コスモス見学」「ミカン狩り」の外出支援行っている。コロナ禍以降敷地の外に出る機会は少なくなっているが出来るだけ四季を感じて頂くよう散歩やドライブなど外出支援を継続し気分転換が図れるよう意識して取り組んでいる。</p>	<p>甲突川の花見や外気浴・ドライブ等に出かけている。家族と一緒に外食・買い物・外出・外泊等に出かけている。季節を感じられるように外出支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や能力に応じ、ご家族と相談をして決めている。手元に持っていたいという希望のある方はご家族と相談して少額であるがご自分で管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族や大切な人に、いつでも電話ができるよう、ハガキのやり取りができるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには季節の花や季節感を感じて頂けるような手作りの飾り付けを掲示している。月1回、フラワーアレンジメントを行っており、季節の花を、ご本人が生けられ各居室に飾っている。	共用空間には季節を感じれるような飾りや花が活けてある。換気を行い、湿度温度調節がされている。テレビやソファがあり居心地よく過ごせる空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士で過ごせるようにテーブル席の配置など共有空間で落ち着いて過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前の生活習慣や住環境を参考に使い慣れた馴染みの家具や思い出の品、ご家族との写真を飾り、自身の居室として居心地よく過ごしていただけるよう支援している。	戸棚・ベッド・エアコンは事業所で設置している。寝具はリースである。使い慣れた毛布や枕・時計・位牌・テレビ・衣装ケース・写真等、馴染みのものを持参して本人が居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	失見当の方も不安のないようトイレや浴室など大きく表札を貼り、分かりやすいよう配慮している。整理整頓に心がけ、移動の妨げにならないよう家具の配置にも気を付けている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない